

設計プロセスの運用改善について

1. はじめに

当社は、標準応答スペクトルの取入れを考慮した基準地震動の変更等を反映した再処理事業、廃棄物管理事業およびMOX燃料加工事業に係る事業変更許可申請を2022年1月12日に行った。

本申請の審査の過程で、再処理施設、廃棄物管理施設とMOX燃料加工施設とで、設計の計画書に定めるべき事項やレビューの手段等に違いがあった。また、本申請の第1回補正に係る社内手続きの過程で「技術的能力に関する説明書」の「主たる技術者の履歴」に関し、技術者の記載順序に不整合があった。

この状況を受け、設計プロセスの運用および事業変更許可申請書記載事項の整合を図るため、設計プロセスの運用改善として、各施設の設計プロセスの運用や事業変更許可申請書記載事項の確認、整理を進めている。

以上を踏まえ、設計プロセスの運用改善の全体計画を纏め、報告する。

2. 実施体制

本業務は、安全・品質本部 副本部長を総括責任者とし、「タスク1 設計プロセスの運用の整合」および「タスク2 事業変更許可申請書記載事項の整合」を別紙1の体制で進める。

なお、タスクは、作業の進捗に応じ、追加で設定する。

総括責任者は、各タスクの進捗およびタスク間の連携を確認する。

3. 各タスクの対応

(1)タスク1:設計プロセスの運用の整合

事業変更許可申請書作成に係る設計の各段階において、各施設の特徴を考慮し、運用の整合を図る。(詳細は資料1)

(2)タスク2:事業変更許可申請書記載事項の整合

事業変更許可申請書において事業間で整合を図るべき箇所等の整理を含め、申請書として記載すべき事項の整理を行う。(詳細は資料2)

4. 今後のスケジュール

設計プロセスの運用改善に係る検討スケジュールは別紙2のとおり。タスク1は、設計管理に関する社内規程の確認作業に時間がかかることから、12月末完了を目途とする。タスク2は、再処理事業部分については12月末までの完了を目標に、他事業部分については2023年度内までの完了を目標とし、設計プロセスの運用改善を2023年度内の完了を目途とする。また、進捗は、適宜、面談にてご報告する。

以上

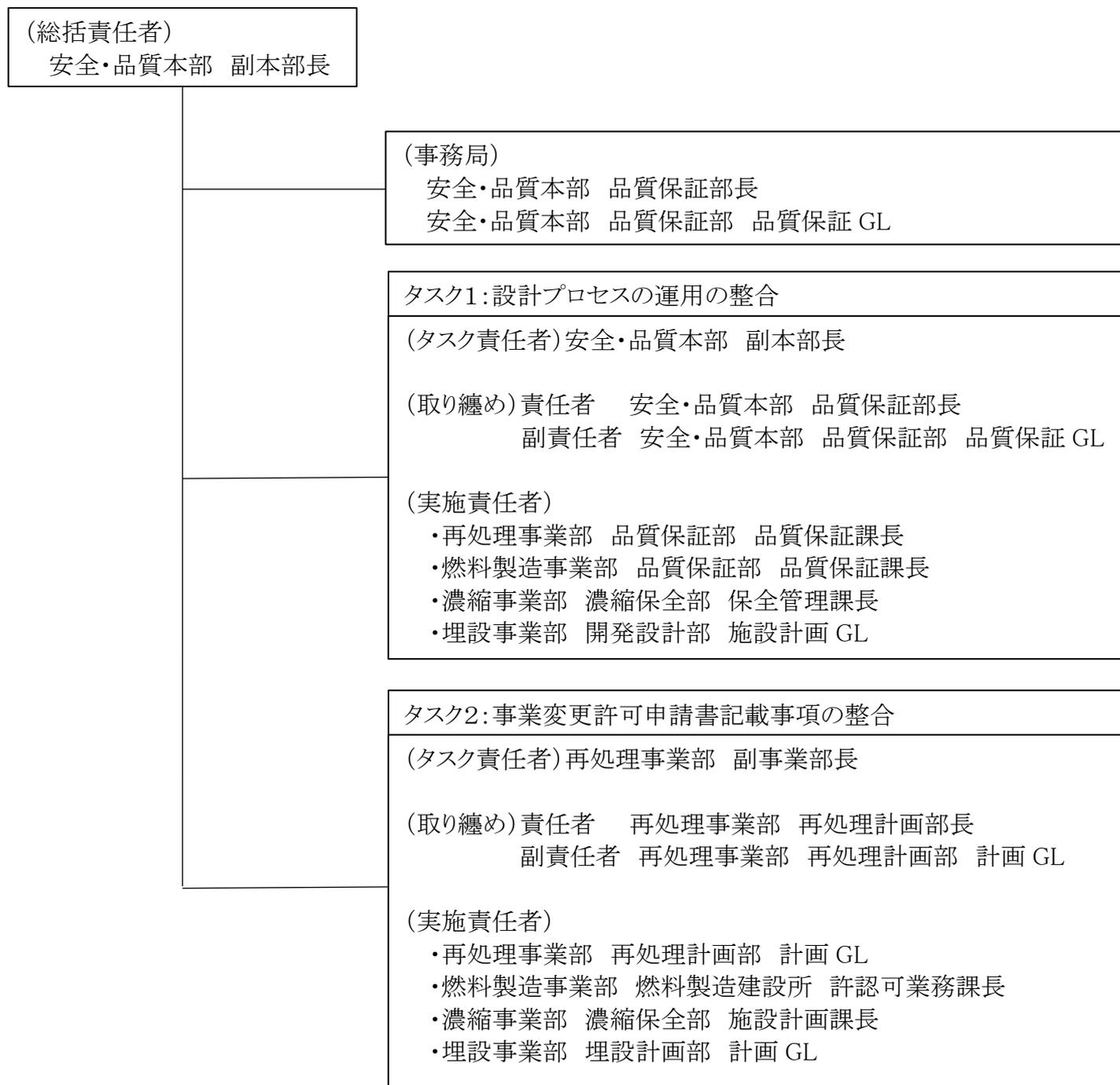


図 設計プロセスの運用改善に係る検討体制

対応事項		2023					備考	
		9	10	11	12	1		
規制庁面談			▽10/5 ・検討方針報告	▽11月上旬 ・進捗報告	▽12月上旬 ・進捗報告	▽1月上旬 ・進捗報告		
総括責任者による確認			▽ ・検討方針確認	▽ ・進捗確認 ・タスク間連携確認	▽ ・進捗確認 ・タスク間連携確認	▽ ・進捗確認 ・タスク間連携確認		
(タスク1) 設計プロセスの運用の整合	(タスク1-1) 再処理施設とMOX燃料加工施設の差異の改善	社内規程への反映					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 凡例 :実績 :計画 </div>	
	ステップ1 設計プロセスの運用に関する差異の抽出							
	ステップ2 各施設の特徴を考慮した整合の考え方の整理							
	ステップ3 社内規程への反映							
(タスク2) 事業変更許可申請書記載事項の整合	①申請書目次整理、事業間比較	2023年 8月完了						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ※1 現時点でステップ3で設定されるタスク（作業物量）の現時点の見積りができていないため、暫定の工程として記載している。 ※2 ③本文記載事項整理以降については、現時点で作業物量の見積りができていないため、暫定の工程として記載している。 9～10月の作業により、作業物量が明確になると考えられるが、その結果によって、作業体制等の検討を含めて工程を精査していく。 </div>
	②事業間整合が必要な可能性のある項目および事業間差異の抽出							
	③本文記載事項整理（再処理事業分）		(本文)	(添付書類)				
	④本文記載事項整理（他事業分）					(事業間整合の検討含む)	※2	
	⑤事業間整合の具体的な考え方整理							
	⑥社内規程への反映							

図 設計プロセスの運用改善に係る検討スケジュール